

# 東由利村報

No. 110 1966.9.1

発行  
東由利村役場  
編集  
畠山 伝二郎  
印刷  
KK本間印刷所

## 東由利村成人式

### 誓いも新た終戦子第1号

これまで1月15日に行って  
いた成人式を、今年は8月15  
日に行った。

お盆で帰省している人達の  
多いせいもあって、成人登録者  
91名のうち80余名が出席し  
、終戦子第1号として、平和  
えの努力の誓いを新たにし、  
戦没英靈に対する黙とうを行  
い、知事夫人の記念講演をき  
いた。

#### 村長式辞

成人式を今日、8月15日に  
改めることについては次によ  
うな理由がある。

誓いのことば（抄）

### 平和建設の原動力となろう！

#### 成人者代表 伊東栄喜

…今日は、私たちを一人前の  
人格者として認めて下さる「  
人生第2の門出」であると同  
時に、21回の終戦記念日でも  
あります。

…たとえ自分の選んだ道は、  
それぞれちがっていても、私  
たち成人者の郷土に貢献した  
い信念に変りありません。何  
事にも自信と誇りを持って、  
積極的に諸先輩の体験や意見  
を広く取り入れ、文化的にも  
経済的にも万事諸先輩の意志  
を引きついで郷土の躍進と發  
展につくし、若いエネルギー  
を措しみなく發揮し、より良  
い後継者となるべく努力を致  
す覚悟であります。

思えば終戦の年に生を受け  
てから21年、終戦当時の社会  
の混乱は想像も出来ませんが、  
私たちには平和そのものに民  
主国日本の歩みと、我が県・

我が村の進歩発展と共に成長  
してきました。

合併による東由利村の誕生  
、酪農の導入・農業構造改善  
と、新しい産業や文化の流と  
が私たちの郷土を緑の牧野に  
大規模な田園に創造しまし  
た。自由自在に動き廻るトラ  
クター、すくすく伸びた稻も  
出穂の最盛期を迎え、稔りの  
秋ももうすぐです。

このような豊かな環境をつ  
くって下さり、又長い間私た  
ちを見守って下さった両親を  
はじめ、村政にたづさわる方々、  
そして村民の皆様に「どうも有  
がとうございました」と心から感謝の  
ことばを申し上げます。

私たちは、今日の感激をいつまでも忘  
れず、豊かな環境に甘んじることなく、たとえ地味であっても自己の為郷土

の為に忍耐強く頑張って行  
きます。

成人と共に終戦記念日を迎  
えた今日、改めて戦争の空しさ  
を反省しないでいられません。  
幾百万の尊い生命を奪い、人々の心を傷つける戦争、  
このような悲惨な過去を再び歩まぬよう平和を呼びかけるのが私達終戦と共に生れ、生長し、今日成人の日を迎えた「終戦子第1号」の使命ではないでしょうか。

…私たちは微力ながらも無益な武力行為を2度と繰り返すことのないよう、日本そして世界の平和を呼びかけ、平和を守り、且つ建設する若い原動力となることを誓い、成人のことばといたします。

#### 知事夫人講演

人生には、折り目切り目がある。今日は皆様にとってその大いなる日である。

誓いのことばの中に、親・  
村当局・為故省・先輩に対する深い感謝の心がのべられた  
、こういう考えは今の若い人達の心からひどくうすれて  
いるのに、実に頼母しく思った  
私は、むすこの新婚のお祝  
に、「おかげ様であります」と書いた茶呑茶わんを贈  
った。

日本の大人们は、心にあっても外にあらわすことが不得手である。皆さんはよいと思  
ったことは、その若さと共に存分に發揮出来る人になつていただきたい。

「一隅を照すあなたは世のた  
から」

○  
自分に対する自信と責任を持  
って（やれば出来る）

○  
両親はからだをつくり、友人は人格をつくる。

友人の出来るのは青年時代  
だ。よき友をつくるよう真け  
んに努力すべきだ。

○  
嫁入道具には全身を写す鏡を  
持って、毎朝夫とならんで姿  
をうつせ。

最高のおけしおは、健康  
ではたらくことである。

## 議員協議会

8月30日議員協議会が開か  
れた。

### 1 下郷中学校音楽室建築

建てるこには異存がない  
専門家の意見をきいてよく研  
究し万全を期せられたい。

### 2 定時制独立校舎建設

独立校舎は将来定時制の独  
立をねらいとするものである  
地元負担は200余万円だが、  
これは校舎の建築費だけで、  
外に設備費として最少限7・

8百万円を要するし、体育馆  
もたてなければならない。小  
中学の統合とも併せて総会的  
に検討しなければならない。

### 3 玉米中学校校庭整備につ いて

### 4 農業構造改善事業

基盤整備は完了した。  
三森山の抜根と道路工事は順  
調に進んだ。

大琴の稚蚕共同飼育所は完工  
して使用している。

草地造成は今年16ha・明年24  
haとする。

沼・土場沢の鉄骨ビニールハ  
ウスは出来た。

### 5 NHKテレビ中継所

道路と敷地は出来た。天氣  
のよいうちに建設資材をあげ  
てしまいたい。開局は11月末  
の予定。完工式は盛大にやる

6 田代・黒淵地区農村集団加  
入自動電話施設に協力する  
こと。今年中に申込む。

## 9月の納税

今月は国民健康保険税第2  
期分の納付月です。

## 鹿島さま

鹿島さまの本社は茨城県の鹿島市にある鹿島神宮である。これは遠い昔から東国一の宮殊にいくさ神として信仰を集めている。万葉集の中の防人(さきもり)の歌に、「あれ降り鹿島の宮にまいでつますらおわれはいで立ちにけり」とある。古来出征することを鹿島立ちといわれて来た

神代の「國ゆづり」の神話によると、天照大神の命を受けたタケミカヅチ・フツヌシの二神が出雲の国に降って来て、大国主の命に國ゆづりのことを命ぜられた。

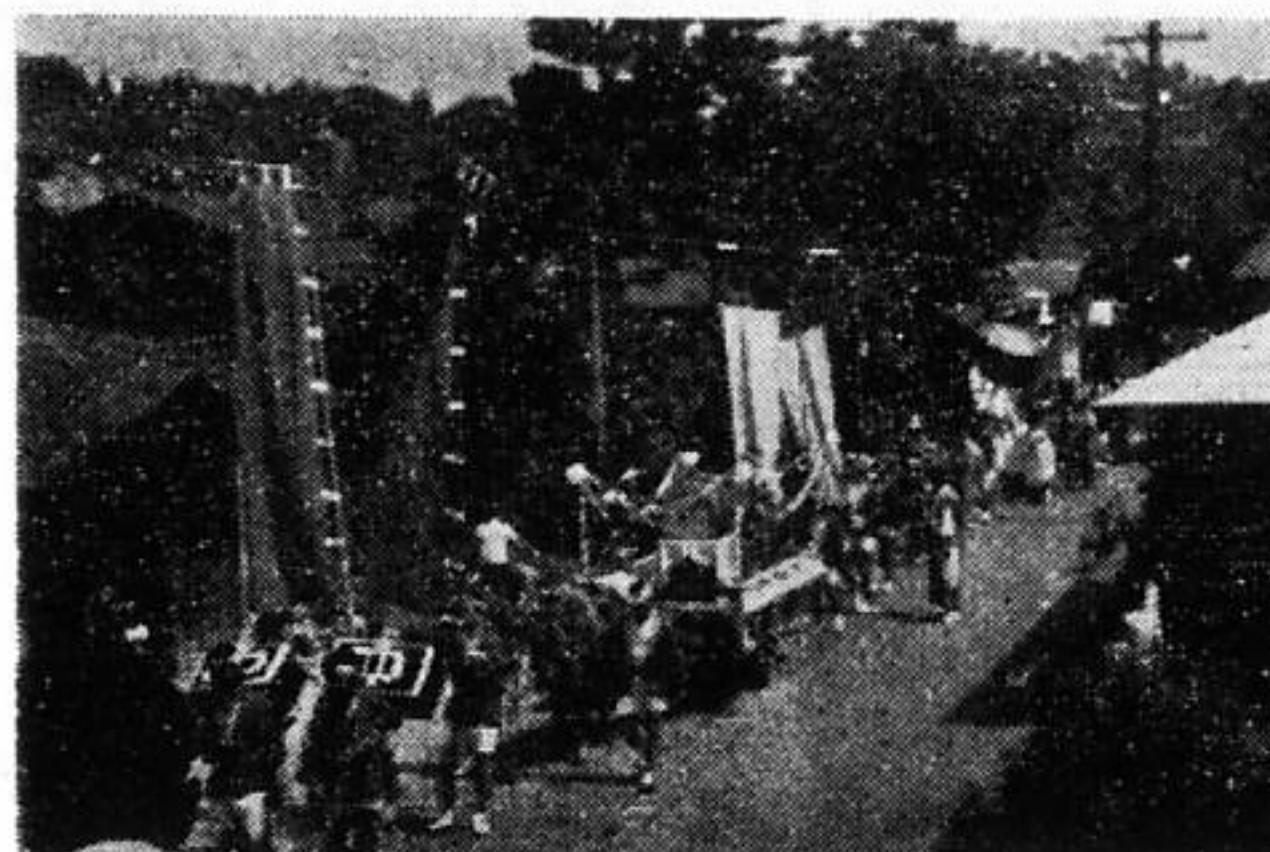
命はおだやかに自分の国土を奉ることを承だくされたがむすこのタケミナカタの神は承知しない。「千引の岩」を

片手にひつさげて来て、タケミカヅチの神に戦をいどんだタケミカヅチの差し出した手をにぎると、そのうでは氷の柱となり、指は剣の刃となって、タケミナカタの指は青あしのようにつぶれた。

にげるタケミナカタを追って信州の諏訪湖の岸で追いついた。そこで仲なおりをして大神の國づくりに忠誠をつくす誓約をした。

このタケミカヅチは鹿島神宮・フツヌシは香取神宮・タケミナカタは諏訪湖岸の岡谷市に諏訪神社としてまつられている。

鹿島おくりは、鹿島神宮で13年目ごとに行われる大祭神幸祭(カンミユキサイ)の形をとったものであろう。



8月19日の鹿島おくり

## 9月「家庭の日」

家庭生活を明るく、すこやかにする一助としての「家庭の日」運動はまだまだ行き渡っていないばかりでなく、各家庭での家族同志の話し合いは余りにも少なすぎるようだ。9月18日(でなくともよい)の「家庭の日」は、やりやすいように考えてぜひ実施するよう。ご参考までに例示いたします。

9月「家庭の日」例示

○敬老の日、9月15日

老人をいたわりましょう  
13日から老人福祉週間が始まっています。若い人たちもお年寄も、おたがいに立場を理解し合い、楽しく明るい生活

## 結核検診

## 血圧測定

ただ今、毎日結核検診と血圧測定にまわっています。みんなが参加するように、部落長を通じての通知により、何

日の何時かを書いておき、さい。

そい合せて検診を受けて下さ

## 慰靈祭・芳名碑除幕式

8月25日、村主催の戦没者慰靈祭並びに芳名碑除幕式は、遺族200余名・本荘市由利郡遺族会長・福祉事務所長(代理)・村議会議員など多数参列のもとに、おごそかに行われた。

### 写 真

#### 【殉国の碑・芳名

#### 碑の前の読経】



## バイクに保険を

10月1日から強制実施  
目下任意加入期間中

自動車損害賠償保障法の一部改正により、原動機付自転車(バイク)を自己のために運行の用に供する者は、その運行により他人の生命又は身体を害した場合に、無過失責任に近い損害賠償責任を負うことになり、責任保険の契約を締結しなければバイクを運行してはならないことになりました。

それに係る責任保険は8月1日から9月30日までは任意加入期間であり

「10月1日からは強制実施」となります。

期日がせまってからだと申込みが殺倒し、保険証明書の交付がおくれたりして、バイクを使用することが出来なくなる場合があるかもわかりませんから、任意加入期間中のうちに早く手続をすまして下さるようおすすめします。

この手続は「自動車損害賠償保険代理店」蔵畠山昭雄氏農業協同組合で取扱っています。

## 遠藤章氏米国留学



今年4月3日農芸化学賞を受賞した遠藤章氏は、今回米国

留学が決定したと、次のようなおたよりがありました。

○

暑中お見舞い申上げます。その後も皆様方お元気でお過ごしのことと存じます。今年は春以来何かとお世話になります。

した。厚くお礼申上げます。さて小生此度、米国ニューヨーク市にあるイエシバ大学の医学部の招きにより、研究員として渡米することになりました。9月14日に羽田から出発し、途中ハワイとサンフランシスコに立寄り、17日頃ニューヨーク入りする予定です。約2カ年間赤痢菌を用いた酵素の仕事をするものですむこうでの生活費等の費用は給料として、一切大学から出ます(年額約300万円)ので1カ月ほど後に家族を呼ぶ積りであります。……略

## 第3回 リズム体育大会

よくもつづく好天気、30度を越す連日の高温にめぐまれて、見渡す穂波に希望のあふれる8月28日、第3回リズム体育大会は台山グラウンドで行なわれた。

保育園児・小中学生・各種団体・一般住民と、全住民の3分の2、凡そ6千人が参加

したものと見られ、殉國の碑に対する黙とうに始まり、園児の親子おどり・小学生のダンス・鼓笛パレード、午後は勇壮なプラスバンド演奏に始まり、かかしコンテスト・仮装パレードが同時に開催された。その種目と参加人員が、昨年と比較にならない程多いの

みならず、内容の豊富清新なことは驚ろくべきものがあった。中学校のマスゲーム・ダンスを終って、いよいよ「全村民親和の大祭」の中心、民謡・盆踊である。グラウンド狭しと拡がる輪・輪・輪。

全力で大鼓をたたき自分もおどりぬく村長のよろこびがみんなのよろこびと、こん然一体となった感動の姿がそこに見られた。

何をするにも正確な名簿がなければならないが、東京では調べようがないから、これはぜひ村で調べてもらいたい

◎

なお、8月6日には舟木出身の長谷山菊治氏もわざわざ役場に訪ねて来られて、東由利会の運営について熱心に話して行かれた。

## 国民の祝日

### 「敬老の日」設定

41年法律86号、国民の祝日に関する法律の第2条、敬老の日、(9月15日)が設定され、6月25日に公布施行されました。

これは以前から民間で行なわれていた「としよりの日」昭和38年老人福祉法の第5条に「老人の日」として規定されていたものであるが、世論の強い要請にこたえて「敬老の日」として、国民の祝日に加えられることになったものである。

#### 「敬老の日」の趣旨

多年にわたり社会につくして来た老人を敬愛し、長寿を祝う。

老人自らが自らの生活を高める日である。

一般国民も自らの老後を自覚し、老人に対する正しい理解を持つ日である。

## 交通事故を

### みんなで防ごう

8月18日にも堀切橋でバイクにひかれた事故(あとでなくなった)があった。全村民の一人一人が真剣に立ち上らなければ交通事故は防がれなくなってしまった。特に大人は、交通規則を守ることはもちろん次のような場合は進んで好意ある注意をすることにいたしましょう。

- ①左がわを歩いている人
- ②道中で遊んでいる子ども(特にキャッチボール)
- ③自転車の二人乗り・横並び



### 東京東由利会について

この間遠藤三郎氏(法内針が台出身、杉並区西田町1の363)が訪ねて来られて、東由利会のことについて色々とご意見をのべて下った。

#### 1、目標

今のところ余り大きな事でなく、村出身の青少年達の、よき相談相手となって、針路を誤らせないようにし、出来れば働きながら進学の出来るようにしてやりたい。

#### 2、組織と運営

村報などをとおして、東京在住者と村とのつながりはあるが、東京在住者同志のつながりはない。しかし、東京及び近郊在住者は3千人に近いので、一まとめにすることは無理であるから、区を単位にまとめる方がよい。その世話を役は区内の人達でえらぶ。

#### 3、名簿

保育園親子おどり

仮装、ひたん島住民上陸



## 第8回 社会人野球大会



第8回東由利村社会人野球大会は、8月20、21の2日間台山グラウンドで行なわれた。

参加12チーム、村長の始球によって試合開始炎天下の熱戦の結果。

優勝、	藏ローズ
準優勝、	袖山チーム
最高殊勲選手、	工藤保春
敢斗賞、	畠山節雄

と決定した。

## 農協婦人部研修会

東由利・玉米農協婦人部では、8月18日、中央会の坂本さんと経済連からの講師によつてブロック研修会を催した。全国農協の方針にそい、「暮しを農協に積み上げる運動」つまり生活資材を農協から買うことにより、消費を合理化すると共に、自分達の農協を育て上げようという、地についた研修をした。

### 県記念日事業 村婦人団体の研修旅行

8月29日は「秋田県記念日」である。この記念日の事業の一つとして「県の開発事業を僻地の人達に見学してもらう」という催しがある。

我が村では昨年に引づき県の補助を得て、8月30日婦人会、農協婦人部の役員が、県指定の仙岩峠・鎧畑ダムを記学した。

鎧畑ダム～洪水調節・発電農業用水などの多目的ダム。最大出力15,700キロワット仙岩峠～仙北と岩手との間、一級国道46号線、秋田盛岡を結ぶ路線として、昭和32年に改修を始め、37年に完工、工費24億円、地球改造の名にふさわしい大工事、頂上の眺めは実に雄大である。

## 自衛隊生徒募集

自衛隊では、近代化のため優秀な技術能力を持った多くの隊員を必要とし、専門技術者として陸・海・空曹を養成するため、中学卒業生を対象に募集しております。

### 1 採用予定人員

陸上520名、海上120名、航空100名。

### 2 応募資格

15才以上17才未満、来春卒業見込みの者を含む

### 3 受付期間

9月1日から11月19日まで

### 4 試験

第1次試験 12月4日

第2次試験 12月18日

合格発表42年2月24日

### 5 入隊

陸上、横須賀市陸上少年工科学校

海上、吳市海上吳教育隊

航空、熊谷市航空第4技術科学校

### 6 待機

入隊、月額13,300円支給

賞与、6月(1.4月分)

12月(2.5月分)

### 7 その他

高等学校卒業の資格がとれる。

高校卒業後幹部候補生、防衛大学校受験幹部に昇任できる。なお各中学校に係幹部が説明に参り、希望により志願案内書をさしあげます。

## 役場事務休業の

### おしらせ

9月17日(土曜日)は全郡町村職員大会が矢島町に開催されるので、当役場職員もこれに出席するため、当日は役場の事務を休業しますからご諒承願います。

## 三郡隣接青年祭

三郡隣接青年会主催の「青年祭」は、7月18・19の2日にわたって、仙北郡南外村外小友小学校で開催された。

平鹿郡大森町の前田・坂部仙北郡南外村の荒又、由利郡大内村の羽広・滝と法内の各単青から120名が参加し、三郡連合青年会のあり方、今後の共通目標・地域課題の解決方法などについて話しあった

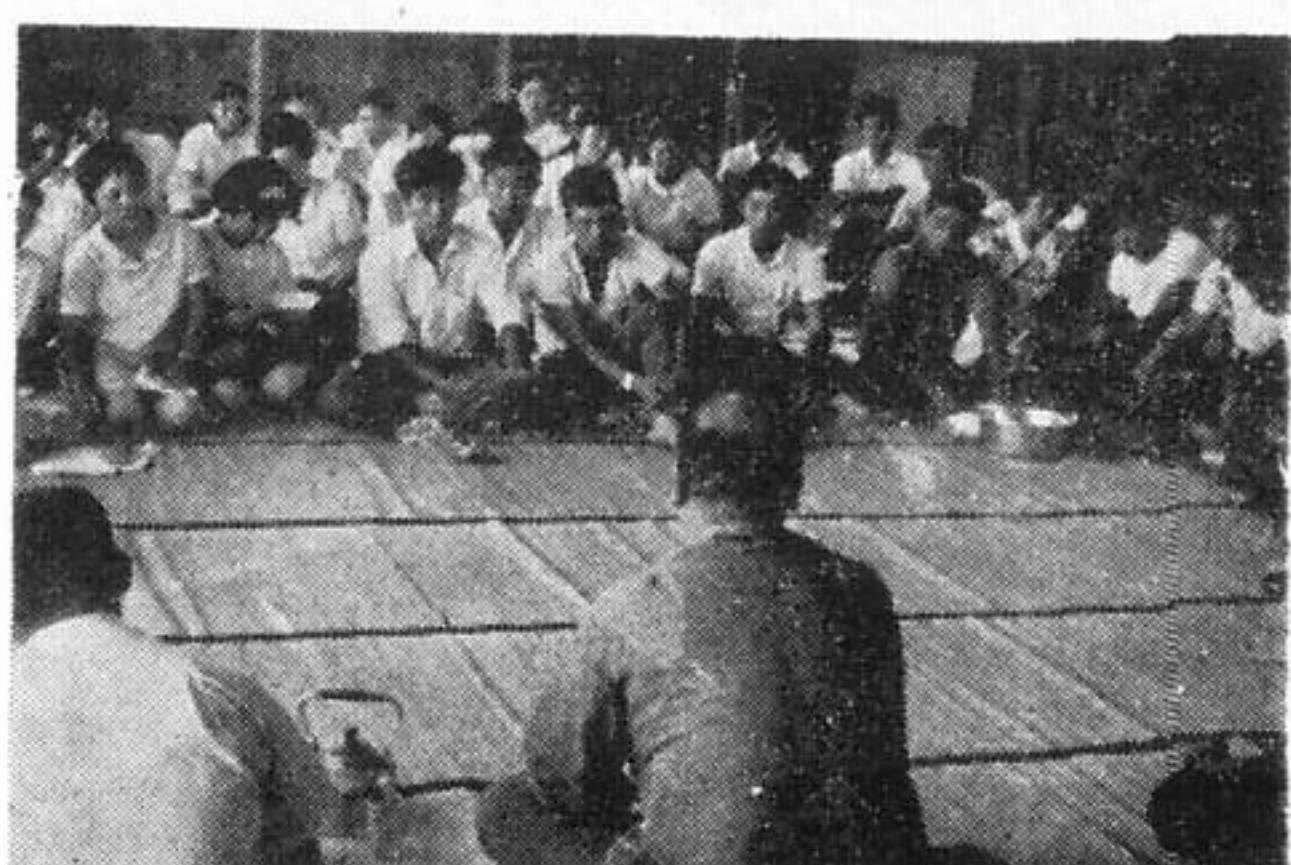
## 夏季青年集会

恒例の東由利村青年会の夏季集会は、8月20~21の2日間法内小学校で行われた。

出席者は約80名、これからの青年会のあり方を中心課題として分科会に分れて検討した。第2日には、村長・経済課長・社会教育主事も出席して、それぞれ激励懇談した。

なおこの学校には給食設備がないので、法内の婦人会で2日間の食事の世話を引受けてくれたので深く感謝されている。

### 写真 村長をかこんでの座談会



## サア泳げ!

### 子どもたち

### 大琴の水泳場づくり

長雨がはれ上ってやっと夏らしくなった8月8日、大琴部落では、子どもたちの強い要望にこたえて、部落長を先頭に30余名が大琴橋の下に水泳場をつくった。古い橋の橋脚や橋材などが残っていて、かなりの難工事であったが、全部取りのけて、危険区域には赤い切をつけた針金を張りめぐらし、清潔安全な水泳場が出来上り、待ちかねた子どもたちのミカッパ天国でござわっていた。

なおこの作業は、部落民が順番で毎年つづけて来ているものである。

## 島宮橋架替工事着工

島宮橋架替工事は12月10日完工の予定で8月5日着工した。この橋は村橋のうち最大のもので大川をまたぐ村橋のうちの永久橋としては6番目に出来るものである。

橋長58.5m、巾3.6m、取付道路74.5m、巾4.5m総工事費960万円である。

完工の上は、整然たる構造改善地区の中央に位し、高瀬川右岸の大堤防と相まって、村内の一偉觀となるであろう

## 堤防工事

構造改善基盤整備地区を洪水からまもる堤防工事は昨年に引づき行われているが、予定計画をくり上げて、今年中に島宮橋まで延長することになり工事をいそいでいる。